



かしこいモリー

デ・ラ・メア再話 ル・カイン絵 中川千尋訳 ほるぷ出版

むかし、三人のむすめが、森で道にまよい、家に帰れなくなりしました。くたびれはてた三人がたどりついたのは、人食い大男の家。夜がふけてから、三人は、大男にたべられそうになりましたが、かしこい末むすめのモリーのおかげで、なんとかにげだすことができました。

ところが、たどりついたお城で、モリーは、王さまからあることをもちかけられて、また大男の家へもどっていきます。

ゆうかななモリーが大男を負かす様子が楽しい、イギリスの昔話。

